貴重書
国
特別
1965
国
24
1154

40. 8. 26
ア306531

孝悪両面鏡

全四冊

作 蘐賀

國芳画

甲辰春

上之巻

神田鍛冶町二丁目
太田屋佐吉板

序

偽ハ口より出て身を果し。錦をのぐる媒口の花嫁ハ當座紙
紙して散やすし。柾木の蔓ゑのぐ契らん嫁ハ長持簞笥
の持参ハのゝ夫ハ貞節の心を執着し。仮ハ愚智をタ貞
ハ実ゑうねバ我ゑりあゞる身と姑の短才とをいつも敬ひ怨るハ是天ハ
ゑさゞ地の利ハ等し。尓ハれども夫ハ貞節の操をまもりて。ゆゑ
ゑハ浮雲の彩朱定めを今タハ嫁して翌旦のそゝハ去るゑ丸
可也清濁をや出雲の神れゑ。ゑ木ハ咲る花聟
ハ帰咲の妹脊を結ぶ。二タ柱の女房と幾世久しく栄え
ゑ。ゑさゝとをゑゝ

天保十五年辰の新板

春頌齋改

万亭応賀誌

和風亭國吉

つぎ
そんなこうのものでごぜいます
ふくりとものふとこれがいやたらいはなしてるがんまくゆそ
「イヤ
「そりゃ
「ヤ
「ヤ

つぎス

つゞき
「ゑんでもゑうどふだま
されとのごろうたゑく
さるとも
おくとも
ことし
のくらい
さて
ゆめ
ゑねがい
さてさて
あくと
ふりふ
ゑんざ
ゑみが
できて
ごうえぢ
さを
ぶんの
ゑざ
ドロ
ドロ

「モシ」だんなさん
どうるさいまーさろ
おられのらりがな
まろさやで
ごろうまる

よ

「まそくく」
モウ

孝惡両面鏡

ふうあくりやうめんかがみ

全四冊

下

あめんかぐ笑

下こく毫

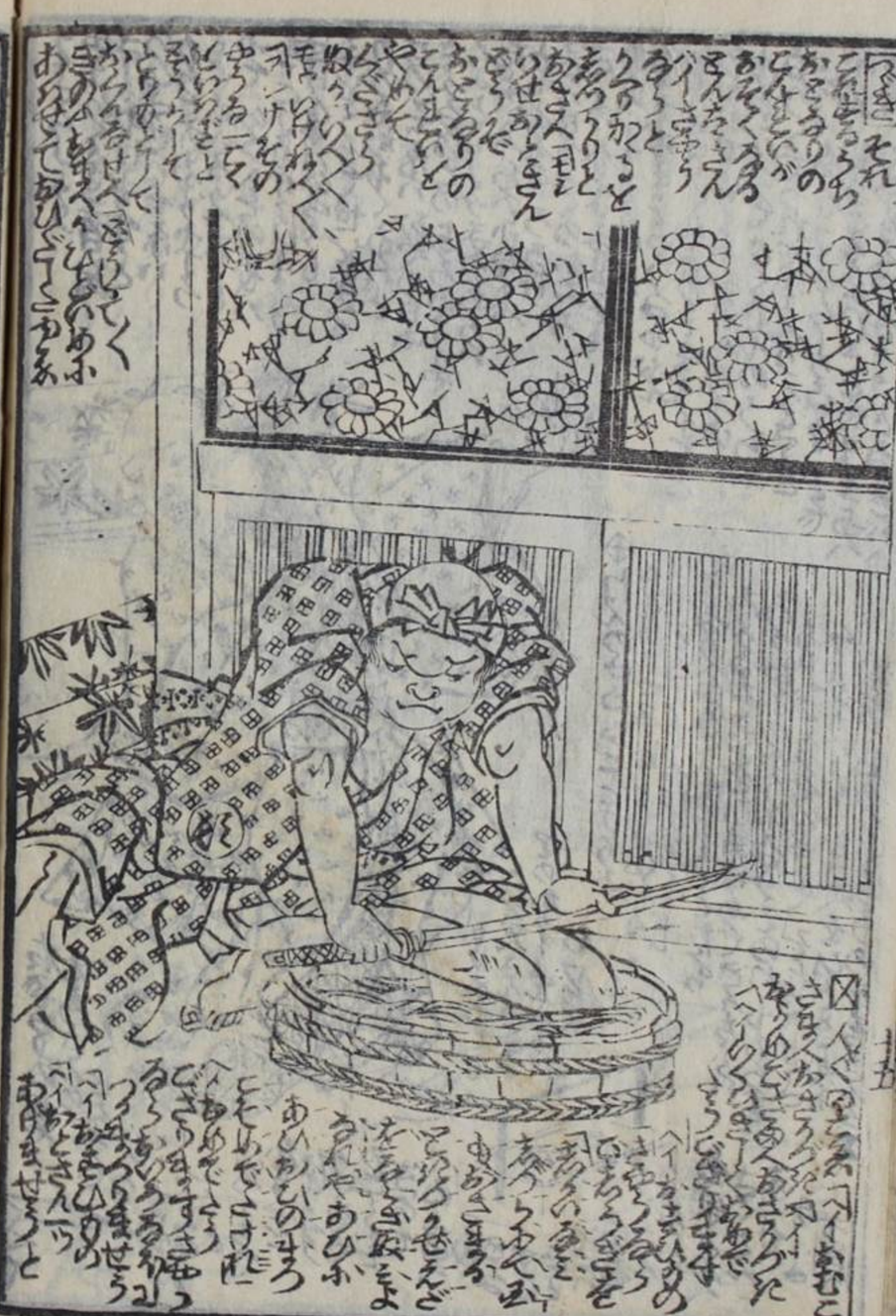
慶賀作

国芽画

甲辰の春

・彩さん

古田屋佐吉梓



岩
梅

つゞきのてゝをやてゝモシ
どんたらうさるく
ひとこのかれくひとヤ
ゆきこりりこのるでも
ごさいまけんりこてこりの
はがうりいとうのうりゆ
ちやうろうとヤス
どうろうとこてーが
かりとこ二分やうそ
のこひきへこてこ
八年ふるうこ
うりハ十にで
たごのきすが
きうご
ゆき
ある
をうて
あるそん
うこ

「マテ〳〵これでこれゝ
ごもをげさと

「これ
いれなや
ムうあごこの
あこうろ
すごふのこて
やるご
かこのこの
きそつけて
やうてのう
りふせ

これが
ゆ子日
ちこ
なりのそ
これいい
ゆこさる
ゆるこうそ
どうんへんとこ
るけくとものぐく十にでも
ヒこそのもくんべんいでこれきせん
けこくくこもくやらこせんと
ゆこれてよこ後ゆるれも
でるこそ「まうご仕子いゆう
くうやくふこちまこせんくうこと
ゆうくこふれこもふくふた
おこれゆうふでもまるくう
ゆそのそこそこけこきうく
ゆひすそこるそこうのう
うちくきそこれがなごうハ
ぶつこえれゆうひるむゆを
ぶぶくとれんぶつをキス
こをさこお十ゆまうのこゆけで
ゆれとゆこんたうハようーやうく
コしゆくこさんあれんぶろ

つゞき

「そんそうこちの人
ごのぶんまゆでゆそ
くごさんせおてこう
まのりのくりゆれ
せひうしまできそ
くごこれや
くうこすうハきを
ゆこ
くこん
まる

つくき　古今年のはこくあんを
ひぐ　ふこきこれぎあごりをえぶきて
ゆのつくしこようひとくび
そのゆくあくこのふ
さえんせうーけ。㊀

㊀これひとくふ
てんのめぐこ
こまふこをろ
ふればあもすめぐさんも
かくこさんもおだとのもあさん
とのめくちふこぎらひの
かどてあり　めーてきもろい
ろゆふあきろべチャクチャと
ちくちきめふおちやつろきと
はすろコットあるこくこでハ
こさりまはんろくろくふす
おてらそくこまりわれことらふくどゆハ
ふくーもてろふかめのよろひの一カくせいと㊁

㊁めぐこまこくろを
ちくくまくス
めぐこ

万亭應賀作
歌川國芳画

文圃
24L
43

文
图書
年度
文